

証券コード 3204

第20期 中間報告書

令和3年1月1日から令和3年6月30日まで

TOABO

株式会社トーア紡コーポレーション



Top Message ごあいさつ

100周年に向かうトア紡グループ

「アメニティ＝快適」という価値を未来に、暮らしに届けるため商品・研究開発を5つの事業分野で展開し、TOABOブランドのさらなる飛躍を目指します。

第20期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第20期第2四半期連結累計期間（令和3年1月1日から令和3年6月30日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大により経済活動の停滞が長期化し、厳しい状況が続いております。ワクチン接種の効果で経済活動の回復が期待されている一方で、変異株拡大も懸念されており、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、一部の工場において休業が続いておりますが、生産の効率化とコスト削減により業績は回復しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,370百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は205百万円（前年同期比117.3%増）、経常利益は220百万円（前年同期比133.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は111百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

今後の方針

新型コロナウイルス感染再拡大の影響により国内景気は沈滞し、また世界的にも未だ収束の兆しが見えないことから、国内経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

そのような環境下、当社グループは5つの事業を中心としてグループ全体の企業価値の向上を目指し、各事業分野において以下の取り組みを進めていきます。

衣料事業

ニューノーマル時代を迎え、在宅勤務が一般化するなどライフスタイルが大きく変化する中、衣料事業では、以下の3点に注力していきます。

1. コスト削減

国内外の適地生産体制の見直しおよび物流の合理化を進めます。またDX技術の積極的な活用により、生産性の向上および事務処理の効率化を図るなど、コスト削減を徹底していきます。

2. 開発の強化

抗菌・抗ウイルス素材やサステナブル素材など高付加価値商品の開発を強化し、収益性の向上を図ります。また、ファッション衣料繊維に依存した商品構成からヘルスケア分野の素材開発を展開することで、収益の安定化を図ります。

3. スクール部門の強化

収益拡大に向け、グループのニット製品製造子会社および制服縫製子会社と連携した総合的な取り組みによるシェア拡大および周辺商材の開発による拡販を進めていきます。

インテリア産業資材事業

新型コロナウイルス感染再拡大の影響が懸念される中、インテリア産業資材事業は以下の3つの戦略を推し進めていきます。

1. 生産の効率化

新規商材の立ち上げのため、既存設備の改修、改造および工程の見える化、デジタル化による生産の効率化を進めていきます。

中国子会社においても、既存設備の改修および改造により効率よく稼働させることで、現地ローカルメーカーとの競争に対処して新規商材の受注を目指します。

2. 品質へのプライド・ものづくりへのこだわり

原着ポリプロファイバーの展示会用需要があまり見込めないため、高機能綿・ショートカット・細番化商材の開発および販売を目指します。また、すべての分野で、次期商材の受注獲得のための新規開発を進めていきます。

3. 環境に配慮したものづくり

導入済みの環境に配慮した排水処理設備の適切な運用と更新を実施するとともに、工場で使用するエネルギーの低炭素排出へのシフトを実現し、環境負荷低減を推し進めます。また、リサイクル事業では、産官学共同研究による「リサイクル炭素繊維の連続繊維化および製布化」に取り組んでおり、リサイクルカーボンファイバーの高付加価値製品化に繋げていきます。

エレクトロニクス事業

昨年度は、一時売上が大幅に落ち込みましたが、今年度に入り、産業機器関連、5G・IT機器関連、ロボット関連の需要回復を受けて、主力の電動工具コントローラーやパワー半導体の受注は前年同期比大幅増です。

一方で、急激な需要増による半導体不足は深刻化しております。このような環境の中エレクトロニクス事業では、以下の3つの取り組みを行います。

1. 省力化・ロボット関連

昨年度に販売を開始した電子棚札は、機種を増やして売上増を目指します。また、減速機は、本年度中に量産を開始してロボットメーカーへの営業を行います。

2. 衛生関連

ウイルス対策用フィルターの製造販売、深紫外線LEDを使用したウイルス対策製品の開発、販売を行います。

3. 環境関連

水だけで金型・金属素材・ゴム素材・ガラス素材の洗浄を可能にしたマイクロバブル洗浄機の販売を行います。

ファインケミカル事業

ウィズコロナ時代の中で、先行き不透明な事業環境を乗り越えて将来の成長軌道を確認なものとするために、以下の3つの戦略を推進していきます。

1. 社会のデジタル化の加速や次世代通信規格5Gの普及により、市場の拡大が見込まれる電子材料分野では、基板材料・放熱材料向け・付加価値の高いフォトレジスト材料向けの拡販強化に努めます。

2. 新型コロナウイルスの感染拡大は、従来のオフィス環境や医療分野の市場に大きな変化をもたらしていますが、これを「新たな成長の機会」と捉え、成長が見込まれる新規材料の開発ならびに営業活動を積極的に進めていきます。また当期堅調に推移した基礎化粧品原料は、引き続き生産の効率化を進めて収益性向上に努めていきます。

3. 世界的な脱炭素のうねりと相まって、これまで以上に環境保護をはじめとする社会課題への対応の重要性が浮き彫りになっています。化学工業である当部門では、かねてより環境にやさしい製造技術の確立と既存製品の製法改良に着手していますが、今後は量産対応に向けさらにスピードアップさせていきます。

不動産事業

事業部全体として、資産の有効活用をより促進し、安定収益の確保を目指します。事務所賃貸については、設備のリニューアルを行うことでオフィス環境の満足度を高め、魅力あるオフィスを提供していきます。経年により資産価値が低下している商業施設については、計画的に修繕し、付加価値を高めることで稼働率と収益性の向上に努めます。また、「SDGs（持続可能な開発目標）」を意識した資産の活用を促進し、環境負荷低減への貢献を図ります。

これらの取り組みによる収益力の向上で利益水準を回復させて、2022年の創業100周年を迎えたいと考えております。そして、その先の10年を見据えたビジョンを打ち出す中長期計画の立案を検討していきます。

また、「企業の果たす社会的責任」の一環として、「人」・「暮らし」・「環境」の心地よい調和を求めています。そして、法令順守や危機管理を一層徹底するため、「トア紡企業行動憲章」のさらなる定着と実践を推進し、より実効性のある内部統制の整備、運用を進めていきます。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年8月
代表取締役社長 長井 渡

Segment 営業の概況



衣料事業

上半期売上高 単位:百万円

2,413百万円



衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造・販売および制服の縫製加工、ニット製品の製造・販売を行っております。

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響は、衣料事業全般におよび、減収の要因となりました。

毛糸部門は、市況の冷え込みの長期化により、セーター向けニット糸および一般スーツ向け織糸の受注が落ち込み、減収となりました。

ユニフォーム部門のスクール制服向け素材は、新規案件、来春向け既存案件ともに受注が堅調で増収増益となりました。

官公庁制服向け素材は、特需案件の受注により増収となりました。一般企業向け制服素材は、需要低迷により、新規および追加受注が低調で減収となりました。

要低迷により、新規および追加受注が低調で減収となりました。

テキスタイル部門は、度重なる緊急事態宣言や郊外量販店の店舗閉鎖・売り場面積縮小、商談の延期や停止などの影響を受け、大幅減収となりました。

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人は、中国国内の市況の冷え込みや日本向け市場が低調であったため大幅減収となりました。

制服向け縫製会社は、スクール制服の追加受注が低単価のアイテムに集中したため、減収となりました。

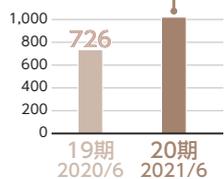
この結果、売上高2,413百万円(前年同期比10.8%減)、営業利益65百万円(前年同期比427.3%増)となりました。



エレクトロニクス事業

上半期売上高 単位:百万円

1,064百万円



エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っております。

主力の電動工具向けコントローラーの大幅な受注増に対応するために、中国の生産設備増強と人員の新規採用を行った効果が表れ、増収増益となりましたが、生産部材の確保や原材料、中国の件費高騰の対応が大きな課題となっています。また、パワー用電子デバイスは、受注が堅調に推移しています。

この結果、売上高1,064百万円(前年同期比46.5%増)、営業利益18百万円(前年同期は営業損失1百万円)となりました。



ファインケミカル事業

上半期売上高 単位:百万円

434百万円



ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、電子材料用および工業用薬品の製造および販売を行っております。

ジェネリック医薬品原体、医薬部外品原体、化粧品用紫外線吸収剤などヘルスケア分野は医療機関の診察規制・自粛や価格競争の影響なども重なり受注が減少しました。

電子材料分野の機能性ポリマー原料は、5Gスマホやフォルダブル端末機向けの需要増で堅調に推移しましたが、世界的に供給が逼迫している半導体のウェハ一周辺部材や半導体製造装置の洗浄用薬剤の受注が低迷し、ファインケミカル事業全体で減収となりました。

この結果、売上高434百万円(前年同期比20.2%減)、営業利益11百万円(前年同期比72.3%減)となりました。



インテリア産業資材事業

上半期売上高 単位:百万円

2,847百万円



インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、住宅建材・排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア関連製品、オレフィン系短繊維の製造および販売を行っております。

国内においては、前年は新型コロナウイルスの影響を大きく受けて生産が大幅に減少しましたが、回復してきており増収増益となりました。

ポリプロファイバー部門は、自動車内装材用原綿は変わらず需要があり、カーペット用原綿も展示会が規模を縮小して開催されていることに加え、オリンピック関連の需要もあり、増収増益となりました。

カーペット部門は、ホテル、オフィス、ダストコントロール用途の需要が減少しましたが、生産効率の改善により減収増益となりました。

特殊繊維部門は、前年並みの生産数量に戻り微増収増益となりました。

自動車内装材部門は、半導体不足の影響は出ておりますが、生産は回復しており微増収増益となりました。

不織布部門は、寝装関係が前年並みに推移しましたが、緑化資材・防草資材、土木関連が若干落ち込み、減収増益となりました。

自動車内装材製造販売の中国現地法人は、半導体不足の影響を受け大きく生産数量を落としております。それによって効率的な生産ができず、減収減益となりました。

この結果、インテリア産業資材事業は、売上高2,847百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益66百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。



不動産事業

上半期売上高 単位:百万円

441百万円



不動産事業は、主に郊外型ショッピングセンター・ロードサイド店舗・オフィスビル等の賃貸を行っております。

ショッピングセンターの賃貸収入の増加に伴い増収となりましたが、一部のショッピングセンターの契約スキームの変更を行ったことと、ロードサイドの一部テナント様の撤退により、営業利益は微増となりました。

また、佐賀県で運営しているゴルフ練習場は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行い、ご来場されるお客様と従業員の感染防止に取り組んでおり、幅広い年齢層のお客様にご来場いただいております。

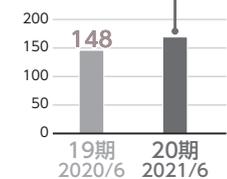
この結果、売上高441百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益275百万円(前年同期比0.8%増)となりました。



その他

上半期売上高 単位:百万円

168百万円



その他の事業は、自動車学校の運営、ヘルスケア商品の販売などを行っております。

自動車教習事業は、積極的な入校生の募集活動を行った結果、特に二輪車が好調に推移し増収となりました。

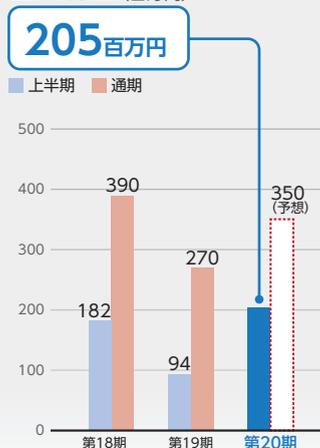
ヘルスケア事業は、東南アジアの港湾免税店での自社ブランド化粧品の販売を計画しておりましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受けて先送りとなりました。また、国内におきましても、対面販売方式の化粧品が低調でした。

この結果、その他の事業全体の売上高は168百万円(前年同期比13.8%増)、営業損失3百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

売上高 (百万円)



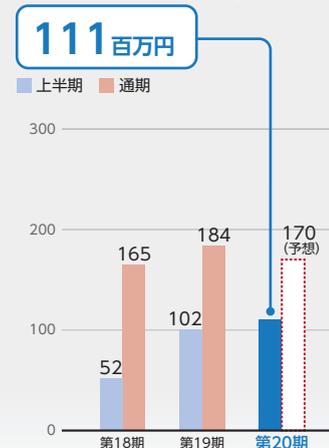
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
四半期純利益 (百万円)



Topics

「super wool by Anna Ortiz」デビュー

TOABOは2021年6月8日 (火) 13時より、「super wool by Anna Ortiz」の販売を開始しました。



「super wool by Anna Ortiz」はTOABOが100年の歴史の中で培ってきたウールの素晴らしさと、Anna Ortiz氏のデザインが融合して誕生した、高性能で快適なホームウェアブランドです。

ウールが持つ通気性や保温性、吸放湿性、天然の抗菌・消臭機能などの特性を活かし「冬暖かく、夏涼しい」を実現しました。これらの特長を備えながら、TOABOの技術により家庭での洗濯も可能となっています。

また、ウールはタンパク質を主成分とする天然繊維のため、廃棄された場合も微生物に分解されて土に還すことができる、環境に優しいエコロジーな素材です。天然繊維ウールを基軸としたシンプルなデザイン、流行に左右されない商品で、10年後、20年後、子供にも孫にも受け継いでもらうことができるようなモノづくりを目指していきます。



Anna Ortiz (アンナ・オルティス)

1986年12月11日生まれ。

スペイン・バルセロナ出身。

サッカー元スペイン代表MFアンドレス・イニエスタ選手の妻であり、4児の母でもある。

子供の頃からファッションの世界に接し、旅をしながら磨いてきたインスピレーションを基に、念願であった自身のホームウェアブランド「SWAO」を立ち上げる。

会社概要 (令和3年6月30日現在)

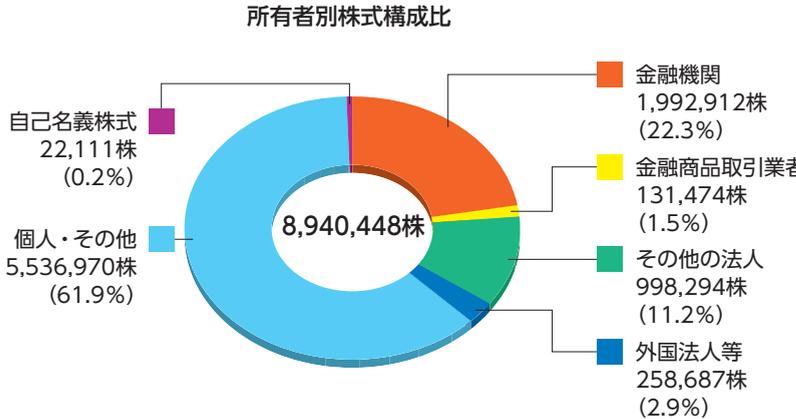
会社名	株式会社トーア紡コーポレーション
設立年月日	平成15年6月12日(創業 大正11年2月)
資本金	3,940,097,500円
主要な事業内容	電子機器向け部品、ファインケミカル、繊維製品の製造販売、ヘルスケア商品、化粧品の販売および不動産賃貸、子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー18階 東京支店 東京都中央区日本橋人形町一丁目2番5号 ERVIC人形町2階 大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
従業員数	71名
ホームページ	URL https://www.toabo.co.jp/

役員 (令和3年6月30日現在)

代表取締役社長	長井 渡
取締役	久保 徹
取締役	水森 吉紀
取締役	戸口 雄吾
取締役	戸川 崇光
社外取締役	坂下 清信
社外取締役	高島 志郎
取締役(監査等委員)	川崎 隆行
社外取締役(監査等委員)	丸岡 健二
社外取締役(監査等委員)	伊藤 久弥

株式の状況 (令和3年6月30日現在)

発行可能株式総数	14,300,000株
発行済株式総数 (自己名義株式22,111株を含む。)	8,940,448株
株主数	5,467名



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法 公告掲載URL https://www.toabo.co.jp/ 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞に掲載いたします。

- 手続におけるご注意
- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
なお、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく
読みまちがえにくいデザインの文字を
採用しています。